

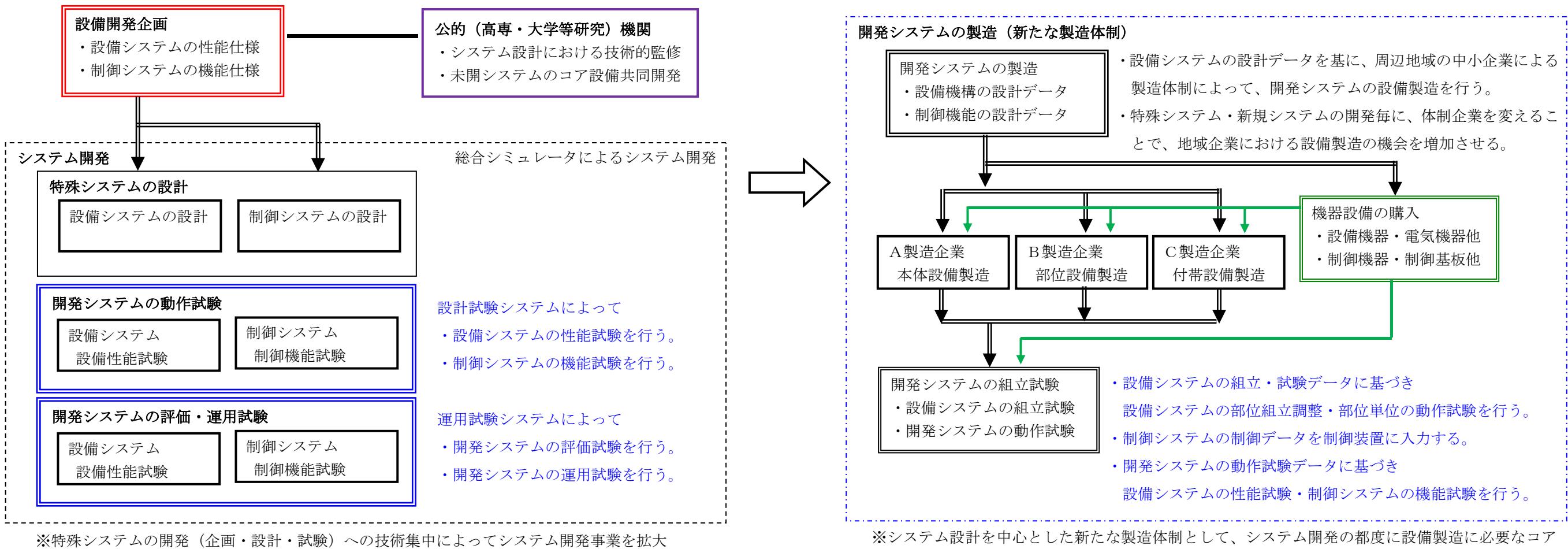
## 特殊システム他の開発（企画・設計・試験・製造）におけるコア集結について

### 1. 要旨

特殊システムの開発（企画・設計・試験）において、公的機関（高専・大学等研究機関）を活用することで、特殊システムの開発企画・設計の合理化とシステム完成度の向上が図れる。また、特殊システムの製造において、設備システムの設計を中心とした新たな製造体制を構築することで、設備製造に必要なコアを有する企業の集結が可能となる。

### 2. システム開発における実施体制

#### (1) 特殊システムの開発・製造体制



#### (2) システム開発・製造のコア集結

特殊システムの開発（設計・試験）におけるコア集結	開発システムの製造におけるコア集結
<b>特殊システムの開発企画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>未開システムの研究開発において、総合シミュレータによる未開システムのモデル構成による未開コア（性能・機能）の抽出を行うことで、大学等研究機との未開システムの共同開発が可能となる。</li> <li>特殊システムの開発に必要な高専・大学等研究機関（埋もれた研究）の研究内容を活用することで、特殊システムの開発企画の合理化が図れる。</li> </ul>	<b>特殊システムの製造メリット</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>設備システムの設計データを基に、周辺地域の中小企業で設備製造に必要なコアを有する企業の集結によって、設備システムの製造体制を構築できるため、設備製造の高度化が図れる。</li> <li>システム設計を中心とした新たな製造体制として、システム開発の都度に設備製造に必要なコア技術を有する中小企業を集結することで、大企業と同等の製造体制を構築できる。</li> <li>設備システムの設計を中心とした新たな製造体制によって、設備システムの設計データ・組立データに基づき製造・組立を行うことで、特殊システムの設備製造・組立期間の短縮とコスト低減が図れる。</li> </ul>
<b>特殊システムの設計</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム設計における技術的監修として、公的機関（高専・大学等研究機関）を活用（コア集結）することで、特殊システムの開発における総合シミュレータによるモデルシステムの設計合理化が図れる。</li> </ul>	<b>システム製造による企業側メリット</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>特殊システムの開発種別毎に製造体制（必要なコア企業）は変えることで、既存の製造技術の合理的な組合せによって、周辺地域の中小企業における設備製造の機会増加が可能となる。</li> </ul>
<b>特殊システムの試験</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合シミュレータによる特殊システムの動作試験における解析結果を、高専・大学等研究機関（公的機関の活用）による科学的評価を受けることで、開発システムの完成度を向上できる。</li> </ul>	

**※** Special system development (planning · design · testing) focuses on core technology gathering to expand system development business.